



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 135

平成19年12月18日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimu@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

日医役員と再度会談

清水理事長等

11月28日、日耳鼻医学会清水淑郎理事長、藤谷副理事長等は日本臨床皮膚科医学会の若林副会長と共に再度日本医師会を訪れ、竹嶋日医副会長、鈴木理事と会談し、来年度の診療報酬改定について中医協や政府の動きなどについて説明を受けた。

会談の中で、支払側もマイナス改定は無理と考えていること、全体の流れとしては、診療報酬はアップの方向との感触を得たため、25日の日耳鼻医学会長協議会で、日医に請願書を提出するとしていたが、今暫く中医協などの動きを見守ることにして、請願書提出を保留とした。

医学会協議会開催される

11月25日

各地より15名の医学会(含・代理)と個人会員代表1名が出席して平成19年度医学会協議会が開催された。

会議では今回の中医協への厚労省の「基本診療料に点耳、簡単な耳垢除去などを含めるとする」提案に対して、耳鼻科医学会としてどう対応するかが中心に討議がなされた。特に耳鼻科医が高度の技術と知識をもって行われる処置を「患者本人あるいは家人ができる」とされたことに対して強い反論が続出、直ちにこのような愚挙を行わないように厚労省に要望書を出すべきという意見が多くの医学会から出たが、厚労省や日医との交渉の窓口が二つ出来るのは得策ではないとの慎重論があり、唐澤日医会長を当会の顧問として委嘱していることも踏まえて、日医に対して今回の問題に全力で対応して貰うよう請願書を出すことで意見の集約を見た。

『後期高齢者医療制度は推移を見守ることに』

引き続き後期高齢者医療制度について討議したが、制度そのものがどうなるのか不透明な部分が多く、今後の推移を見守ることにした。ただフリーアクセスが損なわれるような事態になれば直ちに要望書などを提出することとした。

再診時の外来管理加算 検査・処置をしない場合の評価に診療時間の要件導入

厚労省は12月7日の中医協・診療報酬基本問題小委員会に、診療所と200床未満の病院が対象の再診料に対する「外来管理加算」について、「5分以上」の診療時間を算定要件とする案を提示した。しかし、診療側委員が時間を要件とすることに難色を示したため、小委員会で引き続き議論を続けることとなった。

外来管理加算52点は、「計画的な医学管理」を行った場合に算定できるが、この場合の計画的な医学管理については具体的な規定はない。一方、簡単な処置でもした場合には、この加算は算定出来なく、創傷処置や老人処置、喀痰吸引などで、患者にとっては、これらの処置を受けた時の方が安くなってしまい、処置を受けない時の方が自己負担が高くなり、解りにくいものとなっている。

厚労省は内科診療所の医師1人当たり・患者1人あたり平均診療時間を調査した結果、5分以上が9割(10分以上では6割)であったことから、「5分以上」を外来管理加算の算定要件とする方針を示した。

(Online Medニュース 12/09)

「外来主治医」4日間の研修受講が要件

後期高齢者医療で方針

厚労省は11月28日の中医協・診療報酬基本問題小委員会に対し、75歳以上の後期高齢者の「外来主治医」が算定できる新たな医学管理料について具体案を示した。

対象となる疾患は、糖尿病や高脂血症など主に現行の特定疾患療養管理料の対象疾患とする。主治医は1年間の治療と検査のスケジュールを記した高齢者総合診療計画書を作成して患者に提示。患者から年1回、署名を受ける。日常生活能力などを判定する総合機能評価の演習など、4日間程度の研修を受けることが届け出の要件。

厚労省は、患者1人に対して1人の外来主治医を想定している。高齢者総合診療計画書を作成する際に患者の同意と署名が必要なことから、厚労省は1人の患者が複数の外来主治医を持つことは困難と見ている。ただ、それでも患者が複数の医師の診療計画に署名する可能性も否定できないことから、具体的な取り扱いについては疑義解釈通知で対応する方針。(J.M)

麻疹と風疹、全医療機関からの報告に

厚労省は来年1月から、麻疹と風疹しんについてすべての医療機関から新規患者数の報告を求める方針を固めた。感染症法施行規則の一部を改正する予定で、12月19日まで同省ホームページで意見募集を実施。来年1月から施行する予定。今年10~20代の間で麻疹が大きく流行し、麻疹対策が不十分なことが判明。このため厚労省は感染状況を的確に把握する目的で、すべての医療機関(10万8287施設・医療施設動態調査8月時点)から新規患者数を報告してもらうことにした。(J.M)

診療報酬本体改定率0.1%増に上積みも

政府・与党は12日、次期2008年度診療報酬改定の本体改定率について、0.1%増に当たる財源を確保した上で、さらに若干上積みさせる方向で調整に入った。厚生労働省保険局は薬価の市場拡大再算定と特例引き下げによる追加策で、辛うじて08年度予算シーリングの2200億円圧縮に到達できると見ているが、診療報酬本体のプラスには更なる財源が必要となる。保険局は数百億円規模の財源確保は困難として、多くても80億円、改定率では0.1%増が限界との立場。ただ、自民党は厚生労働部会で「プラス改定」を決議した経緯もあり、政治決着によって本体改定率は上方修正される公算も大きい。(J.M)

プロスタグランジン/ヒドコロンキサン/浸透性体積調節剤
アレルギー性鼻炎治療剤
バイナス 錠 50mg
錠 75mg
スプレー剤

Baynas 浸透性体積調節剤
有効成分: 塩化ナトリウム、塩化カルシウム、塩化マグネシウム、塩化カリウム、塩化亜鉛、塩化コバルト、塩化銅、塩化マンガン、塩化鉄、塩化アルミニウム、塩化セシウム、塩化リチウム、塩化銩、塩化スズ、塩化鉛、塩化ビスマス、塩化アンチモン、塩化ヨウ素、塩化セレン、塩化テルル、塩化ホウ素、塩化硼素、塩化炭素、塩化シリコン、塩化ゲルマニウム、塩化亜鉛、塩化コバルト、塩化銅、塩化マンガン、塩化鉄、塩化アルミニウム、塩化セシウム、塩化リチウム、塩化銩、塩化スズ、塩化鉛、塩化ビスマス、塩化アンチモン、塩化ヨウ素、塩化セレン、塩化テルル、塩化ホウ素、塩化硼素、塩化炭素、塩化シリコン、塩化ゲルマニウム

販売(調剤)先: 日本新薬株式会社
東京都中央区京橋2-11-8
販売先: バイエル薬品株式会社
東京都中央区京橋2-11-8
2008年7月現在